

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教科：芸術 科目：音楽Ⅱ 単位数： 単位  
 対象学年組：第1学年 A組～H組  
 教科担当者：（A～B組：齋藤）（C～H組：篠崎）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）  
 使用教科書：（音楽ⅡTutti+ 教育出版）

教科 芸術 の目標：  
 【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。  
 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。  
 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅱ の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	読譜をするために必要な楽典基礎を理解し、読譜ができるようになる。正しい発声で歌唱表現ができる。	楽譜を読み解き、それを音楽表現に生かすことができるとともに、自らの表現意図をもって音楽表現ができる。創作したリズムを楽譜に書き表し、演奏できる。	音楽文化を尊重し、主体的、創造的に音楽の学習に取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			歌	器	創	鑑賞						
1 学 期	ガイダンス 読譜をするための基礎的な楽典の知識を身につけさせる。	授業内容の説明と確認 音程、音符の名称、音価、拍子 筆記テスト				正しい発声、リズム、音程で歌唱表現ができている。 ○ 曲想と音楽を形づくる要素とのかかわりを知覚し、楽曲の良さを味わって鑑賞できている。	○	○	○	○	3	
	クラシックギターの正しい奏法を身につけさせる。	ギター（メロディ演奏） 演奏発表及び鑑賞		○		TAB譜について理解している。 クラシックギターの構造や音色の特徴を理解し、ギターを正しい奏法で演奏できている。	○	○	○	○	12	
	ドイツ語の発音や発声について指導する。 実技テスト	ドイツ歌曲 実技テスト		○		ドイツ歌曲の特徴を理解し、自らの表現意図をもって音楽表現ができている。	○	○	○	○	5	
	イタリア語の発音や発声について指導する。 実技テスト	イタリア歌曲 実技テスト		○		イタリア歌曲の特徴を理解し、自らの表現意図をもって音楽表現ができている。	○	○	○	○	4	
2 学 期	コードネームの理解 曲想やリズムの特徴を理解し、表現を創意工夫する力を身につけさせる。 鑑賞	ギターアンサンブル 発表会形式による実技試験及び鑑賞		○		各パートのはたらきを理解し、全体の響きを大切にしながら器楽表現ができている。アンサンブルの活動に意欲的に取り組むことができている。				○	○	12
	混声四部合唱の充実	混声四部合唱 実技試験		○		全体の響きを感じながら、正しい発声、リズム、音程で歌唱表現ができている。	○	○	○	○	10	
	様々な国と地域の音楽の鑑賞を通して、各地域の音楽の特徴を理解するとともに、良さを味わいながら鑑賞できる力を育む。	鑑賞 筆記試験				各地域の音楽の特徴を理解するとともに、良さを味わいながら鑑賞できている。音楽鑑賞の活動に意欲的、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	○	4	
3 学 期	日本歌曲の歌唱	日本歌曲		○		日本語の語感を感じながら、表現を創意工夫して歌唱できている。				○	○	10
	創作 楽典基礎	変奏、和音に適したメロディの創作 形式、調、音階、和音			○	○	変奏曲の仕組みや楽典基礎を理解し、創作活動ができている。	○	○	○	○	10
											○	合計 70